



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 串田 守可
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総合企画室長 (氏名) 織田 晃敏
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6538-7719

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	80,296	0.5	3,017	45.1	3,000	41.0	2,015	103.9
2019年3月期第3四半期	80,735	1.5	2,079	24.5	2,128	8.4	988	43.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,419百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 175百万円 (94.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	161.12	
2019年3月期第3四半期	78.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	136,674	60,467	43.5
2019年3月期	136,469	58,867	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 59,448百万円 2019年3月期 58,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	0.2	3,700	23.2	3,700	15.6	2,500	20.4	200.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	13,098,490 株	2019年3月期	13,398,490 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	705,346 株	2019年3月期	865,951 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	12,510,966 株	2019年3月期3Q	12,529,265 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(2020年3月期3Q 33,189株、2019年3月期3Q 39,043株、2019年3月期39,043株)が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策などを背景に、雇用・所得環境の改善などで緩やかな回復基調が続いているものの、長期化する米国、中国との貿易摩擦、英国のEU離脱問題、消費税増税に伴う影響など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、「産業建設資材事業」で出荷が増加したものの、「パイプシステム事業」「機械システム事業」で出荷が減少したことなどにより、売上高は前第3四半期連結累計期間比439百万円減収の80,296百万円となりました。

損益面では、「機械システム事業」における減収の影響などがあったものの、「パイプシステム事業」において収益が改善したことに加え「産業建設資材事業」の増収の影響などで改善し、営業損益は、前第3四半期連結累計期間比938百万円増益の3,017百万円の利益、経常損益は、前第3四半期連結累計期間比872百万円増益の3,000百万円の利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、特別損失として、台風被害による復旧費を前年に引き続き計上しましたが、投資有価証券の売却益を計上したこともあり、前第3四半期連結累計期間比1,027百万円増益の2,015百万円の利益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門で出荷量が減少したことなどで、前第3四半期連結累計期間比934百万円減収の40,860百万円となりました。

営業損益につきましては、原材料価格が前第3四半期連結累計期間比で下回っていることに加え、鉄管部門を中心とした価格改定も寄与してきたことなどにより、前第3四半期連結累計期間比1,453百万円増益の1,844百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門、素形材部門で前期並みの大型物件が減少したことなどで、前第3四半期連結累計期間比2,389百万円減収の16,464百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門、素形材部門の減収の影響などで、前第3四半期連結累計期間比881百万円減益の316百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門で空調製品、消音製品の出荷が増加したことに加え、化成品部門でも電力向け製品を中心に出荷が増加したことなどで、前第3四半期連結累計期間比2,885百万円増収の22,971百万円となりました。

営業損益につきましては、建材部門、化成品部門の増収に加え、原価改善に注力したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比399百万円増益の950百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、債権の回収が進み受取手形及び売掛金、電子記録債権が減少した反面、翌四半期以降の出荷に備え、商品及び製品、仕掛品が増加し、また工場の増設、工作機械の更新により有形固定資産が増加したことなどで、前連結会計年度末比204百万円増加の136,674百万円となりました。

一方、負債におきましては、支払手形及び買掛金が増加した反面、長期借入金が減少したことで、前連結会計年度末比1,394百万円減少の76,207百万円となりました。

純資産におきましては、配当金の支払い、自己株式の取得で減少しましたが、四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末比1,599百万円増加の60,467百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、最近の動向を踏まえ、2019年5月13日に公表しました業績予想を以下のとおり修正いたします。

売上高におきましては、機械部門で大型物件の出荷予定が前倒しになったことに加え、建材部門でプラント付帯物件の出荷が増加したことなどで計画を上回る見込であります。

利益面におきましては、機械部門、建材部門の増収による増益に加え、鉄管部門において、原材料価格が想定を下回ったことや、価格改定も寄与したことなどで、営業利益、経常利益とも計画を上回る見込であります。

2020年3月期の通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2019年5月13日発表)	108,000	3,000	3,000	2,200	175.50
今回修正予想 (B)	109,000	3,700	3,700	2,500	200.30
増減額 (B - A)	1,000	700	700	300	—
増減率 (%)	0.9	23.3	23.3	13.6	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	108,786	3,003	3,200	2,075	165.65

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,564	20,860
受取手形及び売掛金	39,297	35,180
電子記録債権	7,047	6,738
商品及び製品	9,346	10,982
仕掛品	6,682	9,333
原材料及び貯蔵品	2,625	2,716
その他	1,347	1,015
貸倒引当金	△137	△169
流動資産合計	87,774	86,658
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,773	13,773
その他(純額)	17,348	18,725
有形固定資産合計	31,121	32,498
無形固定資産		
その他	745	1,085
無形固定資産合計	745	1,085
投資その他の資産		
投資有価証券	10,328	10,730
その他	6,678	5,872
貸倒引当金	△178	△170
投資その他の資産合計	16,828	16,432
固定資産合計	48,695	50,016
資産合計	136,469	136,674

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,629	20,831
電子記録債務	13,288	12,573
短期借入金	20,255	20,400
1年内返済予定の長期借入金	2,111	2,258
未払法人税等	510	227
引当金	1,956	1,102
その他	6,576	7,342
流動負債合計	64,328	64,735
固定負債		
長期借入金	2,881	866
引当金	110	93
退職給付に係る負債	9,482	9,748
その他	799	763
固定負債合計	13,274	11,471
負債合計	77,602	76,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,880	6,873
利益剰余金	21,178	21,829
自己株式	△1,750	△1,420
株主資本合計	57,493	58,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,013	2,228
為替換算調整勘定	5	△16
退職給付に係る調整累計額	△1,442	△1,231
その他の包括利益累計額合計	576	980
非支配株主持分	797	1,018
純資産合計	58,867	60,467
負債純資産合計	136,469	136,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	80,735	80,296
売上原価	62,384	60,972
売上総利益	18,351	19,323
販売費及び一般管理費	16,271	16,306
営業利益	2,079	3,017
営業外収益		
受取配当金	164	157
その他	217	167
営業外収益合計	382	324
営業外費用		
支払利息	128	104
その他	205	237
営業外費用合計	333	341
経常利益	2,128	3,000
特別利益		
投資有価証券売却益	0	140
債務免除益	42	—
受取保険金	20	—
その他	3	—
特別利益合計	66	140
特別損失		
災害による損失	300	120
事業再編損	151	—
その他	126	2
特別損失合計	579	122
税金等調整前四半期純利益	1,616	3,017
法人税、住民税及び事業税	296	465
法人税等調整額	256	537
法人税等合計	553	1,003
四半期純利益	1,062	2,014
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	74	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	988	2,015

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,062	2,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,187	214
為替換算調整勘定	4	△21
退職給付に係る調整額	295	211
その他の包括利益合計	△887	404
四半期包括利益	175	2,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100	2,419
非支配株主に係る四半期包括利益	74	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	41,795	18,853	20,086	80,735	—	80,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	213	5	58	277	△277	—
計	42,009	18,858	20,145	81,013	△277	80,735
セグメント利益	391	1,198	550	2,140	△61	2,079

(注)1 セグメント利益の調整額△61百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△105百万円及びたな卸資産の調整額33百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	40,860	16,464	22,971	80,296	—	80,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	189	134	78	402	△402	—
計	41,049	16,598	23,050	80,698	△402	80,296
セグメント利益	1,844	316	950	3,112	△94	3,017

(注)1 セグメント利益の調整額△94百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△174百万円及びたな卸資産の調整額64百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。